

『セルラスを続けていく思い』—世界に通じるチカラを育てる—第8号

◇◇ 私(家族)とセルラス ◇◇

現在、全国各地で開催している『多文化教育セミナー』も、いよいよ終盤にさしかかってきました。
私たちの実際の活動を体験していただける『オープンセルラス』では、沢山の素敵な出会いが生まれています。

前号では、現在活動中のメンバーの率直な声をお伝えしましたが、今回はその第2弾、
子育てしながら、働きながら、親の介護をしながら…。
忙しくても、少しお休みしても活動を続けているのは、
「セルラスにはそれだけの魅力があるから」とおっしゃいます。

その魅力とは？

今日は、様々な状況を乗り越えながらも活動を続け、そして楽しんでいるメンバーの声をお届けします。

それでは、—世界に通じるチカラを育てる—『多言語広場セルラスメルマガ』第8号の目次です。

【 目次 】

〈1〉 セルラスと出会って持てた夢！～夢があるから続けられる～
神奈川県厚木市在住 毛利さん

〈2〉 セルラスインフォメーション
～今後の多文化教育セミナー日程～

〈1〉 セルラスと出会って持てた夢！～夢があるから続けられる～
神奈川県厚木市在住 毛利さん(家族構成:夫・小4長男・小2長女)

【このやり方なら多言語が話せると直感！】

私は2013年3月より活動していますが、セルラスに参加しようと思ったのは、多文化教育セミナーで理事長のお話を聞き、このやり方なら多言語が話せるようになると直感したからです。

自分の子ども達の語学教育という風にはあまり考えませんでした。どちらかという、自分がセルラスのやり方で多言語習得を試みたいと思ったのが参加の動機でした。

実は私は、セルラスに入る前に英語は話せるようになっていましたが、これまで自分のやってきた外国語学習から考えたら、セルラスのやり方は夢のようだと思いました。

そして、こちらの方がきっと自然にいろんな言葉を話せるようになる道なのだと、強く感じたのです。

【自身の家族に見た英語力】

というのも、私の両親はそろって英語に精通していましたが、英検1級、TOFEL、TOEICも高得点で、英文学も読みこなす母は、実は英語を話すのはとても苦手でした。

一方、試験の実績は無いものの、商社の営業の現場で英語を培った父は、ネイティブと間違われるほどの会話力を持っていました。

また、弟も、英語は苦手なのに世界中を旅しては沢山の友人を作っています。

そんな家族の姿を重ね合わせたからこそ、セルラスの「人とことばの環境」の中で身につくことばの方が、学習を積み重ねる方法よりも良いと直感したのかもしれない。

【子どもたちに望むこと】

私が子ども達に望むことは、外国語が話せることより、これから世界中の人と一緒に生きていく時代の中で、少しでも広く世界を知ってほしいということです。

そこで生きていく力、ちゃんとお飯が食べて行ける力をつけてほしいです。

ことばは話せるに越したことはありませんが、ことばだけ話せても生きる力にならないこともあります。

これからの世界を生き抜くために、セルラスで、さまざまな経験を通してその力をつけてほしいと思っています。

【新たな夢！オリンピックで多言語通訳ボランティアがしたい】

セルラスで活動して一か月後に、関東セルラス全体の集まり、セミナリオがありました。

その中で2020年のオリンピックで、多言語でボランティアをしようという理事長のお話があったのですが、私は「やってみたい！」と、さらなる夢を持ちました。

あと7年あれば、なんとかなるんじゃないか。その時はそう思いましたが、あと5年となった今、少し焦っています…(笑)

【父の介護をしながら、セルラスを続けた思い】

そんな夢を抱いて始めたセルラスですが、父が認知症を発症し、介護のため半年ほど私はお休みすることを余儀なくされました。

他のメンバーがうちの子も一緒に送り迎えをしてくれて、子どもだけはピアザに通い続けることができ、休会せずに続けることができました。

父の介護を優先しましたが、夢をあきらめたくない気持ちが強く、ピアザ仲間のおかげで続けることができ、ありがたかったです。

【ピアザに参加する姿勢が変わった！】

介護が家族の協力もあり一段落して、半年後ピアザに復帰しました。私にとっては半年ぶりのピアザでした。

驚いたのは、他のメンバーの成長ぶりです。そしてコーディネーターも半年前よりずっと自信を持ってピアザを進行していました。

そんな中で、自分でも意外でしたが、私は素直にすぐピアザに溶け込めず、少し壁を感じてしまったのです。

その後、また父の介護のため1か月間家族でお休みすることがあったのですが、その時は、復帰するとき、ただその場に行くのではなく、

子どもたちと家でロールプレイやシャドウイングを楽しんでから、その勢いでピアザに参加してみました。

受身ではなく、能動的にピアザに参加したら、すぐにその場に溶け込めて楽しさも倍増しました。

その時から、ピアザに参加する私の姿勢が変わったように思います。

【セルラスを続ける思い、そして実現したい夢に向けて】

困難な状況でもセルラスをやめようと思わなかったのは、最初に抱いた夢「学習ではなく、セルラスの環境の中で多言語を話せるようになりたい！」という思いがあったからです。

これからも父のことが第一優先であることは変わりません。介護が忙しくなればセルラスをお休みすることになると思います。それでも、私が「これだ！」と直感したセルラスの多言語習得を信じて、「世界中の人と話ができるようになる」、そして「2020年のオリンピックで通訳ボランティアをする」

という2つの夢を実現するために、これからも子どもたちと一緒にセルラスを続けていきたいと思っています。

《2》 セルラスインフォメーション

～今後の多文化教育セミナー日程～

<関東セミナー>

6月開催日程はすべて終了いたしました。

※オープンセルラスは開催中です。

お問い合わせはこちらまで ⇒ セルラス本部事務局 TEL:03-5333-8202

<関西セミナー>

☆ 6/26 …神戸:六甲

☆ 6/30 …明石

セミナー開催場所の詳細はこちら ⇒ <http://www.celulas.or.jp/skejur3.html>

※関西各地でオープンセルラス開催中です。

お問い合わせはこちらまで ⇒ セルラス関西事務所 TEL:06-7493-7931

このメールマガジンは、これまでセルラスが開催した『多文化教育セミナー』に参加されるなど、私たちの活動にご興味を寄せていただいた皆さんにお送りしています。

セルラスの多言語習得や異文化体験、楽しい交流の活動を、より多くの皆さんに知っていただくために発行しています。

日頃の私たちの活動やご家族で参加いただけるイベントやセミナーなどのお知らせを、月2回の予定でお届けします。